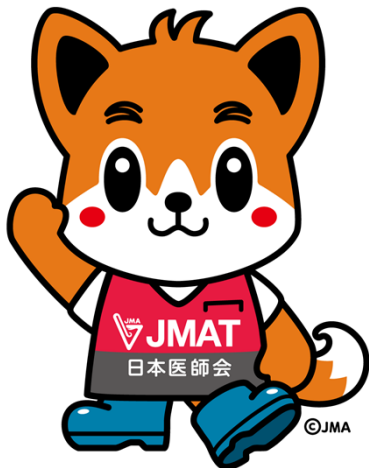


(2018年9月12日定例会見)

平成30年 北海道胆振東部地震 災害対策



公益社団法人 日本医師会

平成30年北海道胆振東部地震災害対策 1

(2018年9月11日現在)

年月日	概要
9月6日(木) 3時19分	3時7分発生地震を受け、日本医師会から都道府県医師会に対し「都道府県医師会・日本医師会災害時情報共有システム」(以下、情報共有システム)を通して情報提供を要請
4時38分	北海道医師会から被害状況の報告(同医師会は5時過ぎより職員が出勤、状況把握に努める)
6時15分	北海道医師会、災害対策本部を設置。道庁、郡市区医師会等に被災状況を確認-
8時21分	北海道医師会より日本医師会に対し、被災状況等を報告(その後、医療機関のライフラインへの対応が重要であるとの情報提供)
10時30分	北海道医師会、職員2名を道庁へ派遣して情報収集。道庁から救急患者の受入状況について情報提供の依頼を受け、13時に報告
11時54分	日本医師会、横倉会長を本部長とする災害対策本部を設置
15時1分	北海道医師会、各郡市区医師会に対し、北海道電力の会見資料及び道庁総務部危機対策局による被害状況等をメールで配信
15時22分	日本医師会、都道府県医師会に対し、現状や今後のJMAT派遣の可能性などについて文書をFAX送信
9月7日(金) 12時55分	北海道医師会、JMAT派遣要否について、北海道DMAT調整本部と打ち合わせ、正式に派遣要請を受ける
15時	長瀬清北海道医師会会長をリーダーとする先遣JMATが、苫小牧市医師会を訪問して協議。その後、胆振・日高DMAT活動拠点本部で統括DMATと協議
17:00	北海道医師会、DMAT医療救護調整本部定時連絡会議に出席(その後も出席)
20時5分	日本医師会、都道府県医師会に対し、北海道医師会によるJMAT派遣の開始を通知
22時40分	北海道医師会から郡市・医療機関医師会等にJMATの構成を依頼

平成30年北海道胆振東部地震災害対策 2

(2018年9月11日現在)

年月日	概要
9月8日(土) 14時	北海道医師会、各郡市医師会に「胆振東部地震に係る医療機関における患者への食事の提供の際の留意事項について」を通知
20時30分	北海道医師会、DMAT医療救護調整本部よりJMAT2隊の派遣要請を受け、手稲溪仁会病院・勤医協中央病院のチーム派遣を決定
9月9日(日) 10時28分	手稲溪仁会病院JMATが被災地に到着、その後、勤医協中央病院JMATも到着し、DMATから引き継ぎを受けて活動開始
12時15分	北海道医師会、各郡市医師会に稼動しているガソリンスタンドのリストを情報提供
15時15分	手稲溪仁会病院JMATから、むかわ町鷗川厚生病院への支援強化のため、増隊の検討依頼
9月10日(月) 16時35分	北海道医師会、北海道大学病院によるJMATの派遣を決定
	日本医師会、JMATのニーズが増加した場合に備え、一部の北海道外の県医師会にJMATの編成・待機を要請
9月11日(火) 8時36分	北海道医師会、JRAT(Do-RAT:北海道災害リハビリテーション推進協議会)によるJMATの派遣を決定 (その後も、北海道内の医療機関によるJMAT編成準備)
18時30分	北海道医師会、北海道保健医療福祉調整本部会議に出席
19時	北海道医師会、第1回災害対策本部会議を開催

平成30年北海道胆振東部地震災害対策

JMAT派遣

現在の派遣状況(2018年9月11日現在)

	派遣数・派遣先
派遣中	5 (むかわ町)
派遣に向けて準備中	1
派遣終了	1 (先遣JMAT: 苫小牧市)

	員数 (延べ)
医師	8
歯科医師	0
看護職員	6
薬剤師	3
他医療関係者	4
事務	5
合計	26

統括JMAT、先遣JMAT

日本医師会「防災業務計画」別添「JMAT要綱」より

<統括JMAT>

災害発生後、被災地の医師会を支援しながら情報の把握・評価を行って日本医師会に発信するとともに、現地においてJMAT活動を統括するJMAT。

<先遣JMAT機能>

統括JMATのうち、災害発生直後に出勤し、JMAT派遣の必要性や被災地で求められる機能や派遣量等の情報の把握・評価を行い、日本医師会等に発信するもの。

<統括JMATの条件、役割>

- JMAT活動の統括
- 被災地の医師会とともに、都道府県災害対策本部／保健医療調整本部や地域のコーディネーター機能への参画（被災地の医師会自ら派遣する場合を含む）
- その役割・目的が、被災地の都道府県医師会・市区医師会の支援であることの認識
- 統括JMAT向けの研修など平時から訓練を受け、また、DMAT隊員経験者などを含めて構成され、被災地の状況評価、DMAT関係者等との連携などのスキルの保有
- 災害発生時、日本医師会からの要請に対して迅速な出勤
- 参加者は、医師、業務調整員、その他、先遣隊や統括に求められるスキルを有する者。必要に応じて、医療関係団体や行政・専門機関とも連携する。
- 必要に応じて被災地の災害医療コーディネーターまたはコーディネーターの補佐
- 平時、各ブロックで複数チーム編成
- 1チーム3日～7日で交代制、原則として被災地の医師会への引き継ぎまで継続
- 原則、診療は行わず、統括としての役割に専念
- 被災地の状況、医療ニーズの動向、他チームの参集、要配慮者対策、被災地の医療機関の復旧状況等を把握し、分析・評価
- JMATへの情報提供、助言
- 特定の領域の潜在的なニーズの把握

平成30年北海道胆振東部地震

JMAT派遣

日本医師会関連サイト

 日医on-line www.med.or.jp/nichiionline/

「日医君」だより



www.med.or.jp/nichiionline/mailmagazine/

災害医療対策について

www.med.or.jp/doctor/sien/s_sien/002049.html

日医総研（災害支援、復旧支援に関する研究）

www.jmari.med.or.jp/